

令和元年度第1回産学交流シンポジウムのご案内

下記の通り、令和元年度第1回産学交流シンポジウムを開催することとなりました。奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

日時：令和元年8月24日（土）15：00～17：00

会場：立教大学池袋キャンパス本館（1号館）1202教室

タイムスケジュール

15:00 開会挨拶（亀川雅人会長）

司会者：立正大学 松村洋平氏 株式会社山城経営研究所 主幹研究員 堀越 勝氏

15:05～15：45 ゲスト報告

テーマ：「日本企業の経営革新になぜ産学連携が必要なのか」

報告者：株式会社 CARTA HOLDINGS 取締役 CFO 永岡 英則氏

15：45～16：15 討論（各5～10分）

討論者：株式会社旅工房 代表取締役 高山泰仁氏

東急電鉄株式会社 取締役・執行役員 村井淳氏

二松学舎大学 准教授 小具龍史氏

16：15～17：00 パネルディスカッション

17:30～ 名刺交換会（懇親会）を予定（学外）

参加費：500円(会員) 1,000円(非会員)

*シンポジウムのみの方の参加の方は、申込の必要はありません。名刺交換会（懇親会）に参加予定の方は、会場予約の関係上、1週間前を目途に亀川雅人（kamekawa@rikkyo.ac.jp）にご一報ください。

報告内容：

- ・グローバルな競争環境下、日本企業はなぜ周回遅れになってしまったのか。
- ・3つの思考停止（硬直性）⇒①ファイナンス（F）、②マーケティング（M）、③人的資源（H）
- ・3つの分野に変革の兆候。
- ・F:資本効率が問われ始めた
- ・M:マーケティングサイエンスが問われ始めた
- ・H:個の活かし方が問われ始めた。
- ・合理性に基づく経営が遅ればせながら必須になってきている。
- ・「ビジネススクール文化」と「産学人材交流」の乏しさに起因するのではないか。
- ・「産」の問題と「学」の問題とは何か。
- ・真の連携とはどういうことか。